

満18歳未満のお子様スマートフォン等を利用させる場合、
保護者の方は次の点に十分注意してください。

1 適切にインターネットを利用する

SNSを利用して子供たちを言葉巧みに誘い出し、事件やトラブルに巻き込まれる深刻な事件が発生しています。インターネットに関する知識、情報モラルやコミュニケーション能力を親子で身につけ、正しく利用することが重要です。

2 家庭のルールを作る

長時間利用によるネットの依存症も増加しています。適切な生活習慣が身につけられるように、お子様と一緒に話し合い、それぞれのご家庭のルールを作りましょう。「利用時間は夜9時まで」など、ルールは具体的に決めることがポイントです。

3 フィルタリングなどを設定する

「フィルタリング」は、知識が十分でないお子様が、不用意に違法・有害サイトにアクセスしないよう制限する機能です。子供たちが事件・事故に巻き込まれないようにスマートフォン等には必ず「フィルタリング」を設定してください。

○実際に起きたトラブル事例をまとめた「インターネットトラブル事例集」も活用ください。

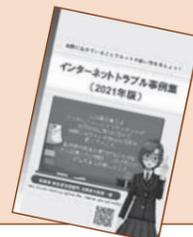
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/kyouiku_joho-ka/jireishu.html

総務省インターネットトラブル事例集

本件に関するお問い合わせ先

総務省 北海道総合通信局 情報通信部 電気通信事業課

☎ 011-709-2311 (内線:4704)



今年度奨励賞に入賞した作品の一部を紹介

令和3年度 せんりゅう・
ポスター=作品紹介コーナー



「大人が守ろう 子どもの命」
新光小学校4年 佐藤 美和さん



「けっして、一人じゃない」
東川下小学校6年 高倉 彩花さん

「ボク」と「キミ」

違うからこそ 教え合う。
北都中学校1年 大山 環さん

ありがとう

言葉一つで かわってく
石山緑小学校4年 岩澤 雄一さん

「無理」だめと

子どもの夢を 消さないで
常盤中学校3年 富永 心海さん

発行

札幌市子ども未来局 子ども育成部 子どもの権利推進課
〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目 大通バスセンタービル1号館3階
電話 011-211-2942 ファックス 011-211-2943

毎年11月20日は
「さっぽろ子どもの権利の日」

札幌市公式HP:「子どもの権利」のページ



Eメール

kodomo.kenri@city.sapporo.jp



SAPPORO

令和4年(2022年)3月発行



さっぽろ市
02-G01-21-1977
R3-2-1280



子どもがきらりと輝くまちに

子どもの権利 ニュース

The Rights of the Child

第26号
令和4年3月発行

- 子どもにとって大切な権利
- ・安心して生きる
- ・自分らしく生きる
- ・豊かに育つ
- ・参加する

Web会議活用

新たな取組 の進め方



長らくコロナ禍により主流となった、オンライン会議。子どもたちも一人一台端末が整備されるなど、パソコンに触れる機会が増え、オンライン会議は身近なものになりつつあります。今回は、オンライン会議を活用した様々な取組を紹介いたします！

ノボシビルスク市

大田(テジョン)広城市

姉妹都市少年少女交流事業

市内の中高生を対象とし、国際的視野の広い少年少女の育成を図るため、姉妹都市交流を行っています。

今年度は令和4年2月5日(土)にノボシビルスク市(ロシア)の学生16名と札幌の学生9名によるオンラインでの交流会を開催しました。

当日は学生同士が互いの言語を教え合ったり、日本文化の体験として折り紙を一緒に折ったりと、楽しいひと時を過ごしました。



奈井江町

北広島市

長野県松本市

4まち子ども交流事業

札幌市と同様に子どもの権利条例を制定している奈井江町、北広島市、長野県松本市の子どもたちとの交流会を毎年実施しており、今年度は令和4年1月6日(木)に「4まち子どもオンライン交流会」を開催しました。

札幌市からは小学6年生3名が参加。札幌市について紹介したほか、まちづくりについて行っている活動をそれぞれ発表し、積極的に意見交換を行いました。



市政への子どもの参加・意見表明の取組

子ども議会

子ども議会は子どもたちが札幌のまちづくりについて考え、意見を表す取組です。

令和3年度の子供議会は全日程をオンラインで開催。オンライン上でも、子ども議員たちは積極的に話し合いを進め、最終的にそれぞれの意見をまとめました。

子ども議員の意見は発表動画にまとめ、3月に開催された超まちフェスで公開したほか、北2条広場デジタルサイネージで配信しました。



オンライン出前講座

子どもの権利推進課では、子どもの権利についての出前講座を行っています。

対面での講座が難しい状況が続いていることから、今年度初めて中学生向けの出前講座をオンラインで行いました。参加した中学生からは積極的に質問も飛び、接続トラブルもなく無事終了しました。

大人向けの出前講座もオンラインで開催可能です。

ご希望の場合はご相談ください。

お問い合わせ先

子ども未来局子ども権利推進課

☎ 011-211-2942

さっぽろのまちづくりに 子どもの声を届けよう!

子どもの 提案・意見募集 ハガキ

今回のテーマは、「札幌市内のみどりや公園について」。みどりの大切さの周知方法や親しまれる公園について、子どもたちから提案や意見を募集するため、返信用ハガキ付きの用紙を市内の学校などに配ったところ、合計226通の子どもたちから意見が届きました。クラスで取り組んでいる河川についての意見をまとめて提出してくれたものや、レポートで取り組んでくれたクラスもあり、多くの参考になる意見が届きました。届いた意見やアイデアの一部を紹介します!

Q1 みどりの大切さをもっと知ってもらうにはどうしたらいいだろう?

もっと多くの人々にみどりの大切さを知ってもらうためのアイデアを募集。ポスターやテレビ、ユーチューブなどを活用するといった、多くの人に効果的に呼びかけられる方法があげられたほか、クイズやスタンプラリーなど、楽しみながらみどりに触られる機会を作るといったアイデアがありました。

また、公園の花や木を増やすなどの施設の改善や、学校の授業で取り入れるなど、子どものころからみどりの大切さを学ぶ機会が必要という提案のほか、みどりがなくなる影響を知らせるといった意見もありました。



▲有明の滝 自然探勝の森

ほかにはこんな意見

植林イベントを開催し、参加者を「植林ソムリエ」に認定する。

みどりの大切さを書いた袋に花の種を配ると、みどりの大切さが伝わるとともに、花などみどりを増やすことができる。

子どもが木を植えて、芝を育てたりする、子どもが作る公園「こども公園」を作ると、小さな子どもから小・中学生までみんながみどりの大切さをもっと知ることができると思う。

紙芝居や絵本を作って、子どもたちに読み聞かせる!

自然の問題を使って、クイズラリーなどのイベントを行えば、自然やみどりについて詳しくなると思う。

公園や河川に「みどりは大切」「ゴミを捨てないで」と看板をたてる。

緑の大切さを伝えるプロジェクトで、未来を担う子どもたちに知ってもらう。

子どもたちが遊べる、クイズなどを書いた「みどりカード」を小学校に配る!

建物の屋上や歩道に木や花を植え、地域で協力して育て管理する。

大人も子どもも自然に触れ、学ぶこともできる「自然ツアー」。



A. 札幌市の考え方

札幌のみどりの大切さをもっと知ってもらうための方法や、多くの人々に親しまれる公園について、たくさんアイデアをいただきありがとうございます。



▲自然観察会の様子

札幌市では「札幌市子どもの最善の利益を実現するための権利条例(子どもの権利条例)」に基づき、様々な場面で子どもが意見を言う「子どもの参加」の機会をつくり、まちづくりに子どもの視点を生かす取組を進めています。今回は、子どもたちの声を札幌のみちづくりに届ける取組として実施している「子どもの提案・意見募集ハガキ」について紹介します。

Q2 もっと多くの人々に親しまれる公園を考えてみよう!

誰もが使いやすく、多くの人々に親しまれる公園にするためのアイデアを募集。アスレチックやブランコなど人気のある遊具を増やす、ボール遊びができる公園など子どもが楽しめる公園のほか、自然豊かでゆったりできる公園、高齢者が過ごしやすくベンチを増やす、小さい子が遊べる安全な遊具や大人も使える健康遊具など、子どもだけでなく多くの人々が快適に過ごせる公園を考えてくれました。

また、クラスでアンケートをとった結果をもとに意見をまとめたレポートもありました。



▲大通公園

安心・安全で快適な公園

- ★ベビーカーや車いすでも通れる広い散歩コースを作ったり、点字ブロックを設置したりしてバリアフリー化を目指す。
- ★遊具、ベンチ、トイレなど、人がたくさんふれあうところをキレイにする。
- ★水たまりができないよう凹凸を直す。
- ★街灯をたくさんつける。

年齢問わず楽しめる公園

- ★足つぼやジョギングができる公園。
- ★体力測定ができる公園をつくり、若者から年配の人まで、健康を意識できるようにする。
- ★スケートボードやボール遊び、いろいろなスポーツができる専用の公園。



みんなの アイデア



自然・環境を意識した公園

- ★木の迷路など、木を使った遊具などの「木」をたくさん使った公園。
- ★人力で回したり、ターサンロープが動いたりすると発電できる、自然にやさしい公園。
- ★1/3サイクルに関係のある遊具を作る!



札幌市への具体的な要望もありました。

- ★大きいバギーや電動車いすが、車止めがあつて入れなかった。誰でも入れるようにしてほしい。
- ★地域の子どものような遊具がいいか聞いてほしい。

札幌市の大きな公園や森林では、それぞれの場所で育つ植物や生き物の観察会や自然を守るための場を通じて、みどりの大切さを伝えていく活動を行っています。

今後は、みなさんからいただいたアイデアを参考に、クイズなどを取り入れた、楽しみながら学べるイベントの開催を一層充実させるとともに、多くの人々にみどりの大切さを知ってもらえるよう、ホームページなどを活用して、みなさんに

わかりやすくお伝えしていきたいと思えます。

次に、もっと多くの人々に親しまれる公園についてですが、誰もが快適に過ごせる公園となるようなアイデアをたくさんいただきました。

札幌市では、古くなった公園を新しくするときには、バリアフリーやユニバーサルデザインを取り入れ、誰もが使いやすい公園となるよう取り組んでいます。

また、町内会や小学校へアンケートなどを行い、地域の人たちと話し合いながら、どのような公園にしていくかを決めています。

今後も、みなさんからの意見やアイデアを参考に、多くの人々に親しまれる公園づくりを進めていきますので、みなさんも身近な公園が新しくなるときには、アンケートや話し合いの場にぜひ参加してみてください!